

健康経営の取り組み方法

1. 事業主のからの声かけ(健康経営宣言)と組織づくり

① 健康経営宣言をします。

自事業所で“健康経営をすすめる”ことを従業員に伝えることが大切です。
社内外に向けて「健康経営宣言」をしましょう。

② 健康づくりの担当者を明確にします。

従業員の健康づくりの担当する部署や担当者を決めましょう。

2. 実践してみましょう

① 従業員の健康状態を把握します。

保有する健康情報(健診結果)や職場環境などを分析してみましょう。

例) 健診の受診率は何%なの?
高血圧や高血糖などの異常者はどのくらいいるの?
喫煙率が高い気がする?
最近、傷病休暇が多くなった気がする?

② 何から取り組むかを考えます。

①の従業員の健康状態や勤務環境などから特に気になることはありますか?
気になることから取り組んでも良いです。

★優先順位の付け方はどうしたらよいのか?

例) 多くの従業員に共通している課題から・・・、取り組みやすい課題から・・・

③ 従業員に働きかけます。

実際に、環境改善に向けて考えたことを事業所内で取り組みましょう。

・[やまなし健康経営得優良企業認定制度の「認定要件の解説書」](#)で紹介している取組例などを参考に
できそうなことから取り組みでみましょう。

・生活習慣の改善のモチベーションの向上・維持ができるよう「媒体」や「ツール」を活用しましょう。

★事業所内では難しい取り組みは、
医療保険者や山梨産業保健総合支援センターなどの関係団体の支援を受けましょう。

3. 振り返りをしましょう。

継続できるように頑張りましょう!

さらに、取り組みやすくするための工夫を加えていきましょう